岩盤柱状図

調査名　小仁方一丁目8地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BP.No.30-1	調査位置	広島県呉市川尻町小仁方一丁目　地内	北緯	34°12'50.4022"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年2月1日～令和5年2月7日	東経	132°40'48.9551"
調査業者名		照査技術者		管理技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 9.80 m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 15°	使用機種	試錐機	東邦DO
総削孔長	7.00 m								エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 % / 最大コア長 cm / RQD % (0 20 40 60 80 100)	記事	地質時代区分	孔内水位 m／測定月日	標準貫入試験 深度-N値 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	削孔月日	削孔速度 cm/h	孔径mm・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 L/min
1												(100)	崩落性の堆積土砂。																	
													粗砂を主体とし、30mm以下の小礫をやや多く混入する。				41	1.15	18	12	11	41/300	2/2	70			20	60	-	
2												(100)	1.60m付近に φ10cm程度の未風化の玉石を混入する。					1.45												
																	11	2.15	3	4	4	11/300								
3												(100)						2.45												
	6.30	3.50		礫混じり砂	黄褐												16	3.15	6	5	5	16/300								
4												(100)	風化に伴い、軟質化が進行する。					3.45												
																	115.4	4.15	38	12/30		50/130			B2					
5												(100)	硬質マサ状を示し、粗砂状～細礫状コアを採取する。					4.28					2/3	58						
													コアは、柱状を保つが指圧で容易に砕け砂状を呈する。				166.7	5.15	50/90			50/90				W/MC	20	120	1.0	
6												(100)						5.24												
													深度に伴い、硬質化が進行する。				150	6.15	50			50/100								
7	2.80	7.00		風化花崗閃緑岩	褐灰	w4	h2	E	V	d	DH	(100)	岩級区分は、DH級を示し、岩質区分は軟岩Ⅰ相当を呈する。		2/7 無し		500	6.25 / 7.00	50/30			50/30	2/6	120	66	W/D	10	120	1.0	
																		7.03												

株式会社アース開発コンサルタント